

科目	書道 I	単位数	2	学年	1	学級	1年次全クラス 選択者	学科	普通科 国際教養科
----	------	-----	---	----	---	----	----------------	----	--------------

学習の到達目標	書道の楽しさを学び、生涯にわたり書を愛好する心・書の実しさを追及する心を養います。
使用教科書 副教材等	東京書籍 書道 I

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前	4	「書道入門」 ・書道について	中学校までの書写の学習を振り返る。 書写と書道の共通性と相違を理解し、書の世界を知る。 姿勢や執筆法の基本を理解する。
	5	硬筆ペン字	競書大会出品作品制作
	6	漢字の書の学習 1、楷書の学習 唐の四大家について 「九成宮醴泉銘」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」 「顔氏家廟碑」	楷書の成立や基本点画、線質の表し方、用筆法、運筆法を学びます。 半紙に臨書することによって、古典の特徴を学びます。 ※古典とは、書道史上代表とされる書物・作品 ※臨書とは、古典を見習って書くこと
	7	2、行書の学習	行書とは何か、楷書との違い、行書の成立や基本点画、執筆法を学習します。
	9	3、書聖王羲之について 「蘭亭序」  創作 「蒔絵」	お盆に行書体で制作します。
後	10	篆刻 落款印の作成	※篆刻とは、篆書を印材に彫ることです。 八分印(2cm×2cm位の石)に名前を彫ります。 印面整備・検字(名前の篆書を調べる)・印稿作り(印の完成形を書いてみる)・布字(印材に字入れする)・運刀(彫る)・補刀・押印し、落款印を作り今後の授業作品に活用していきます
	11	書き初め	千葉県小、中、高校書き初展出品制作 楷書、行書より一体を選んで作品として仕上げ、競書大会に出品します
	12	仮名の書の学習	仮名の成立と変遷、種類について学ぶ。 いろは歌を用いて基本点画、執筆法を学びます。 平安時代の名筆の学習を通して、仮名の書の実しさと特徴を理解する。
	1	「蓬萊切」 「高野切」	
	2		
	3	漢字仮名交じりの書 作品鑑賞	1年を通して学習してきた古典を振り返り、自分が書きたい詩文を、色紙作品として仕上げます。 自分の作品や友人の作品に対する鑑賞を深めていく
評価の観点及び評価の方法	書への関心・意欲・態度	書道に興味を持ち、集中して授業に取り組んでいるか。 書を理解し、その芸術性を味わおうとしているか。	
	書表現の構想と工夫	書作品の実しさと芸術性を感じ取り、表現方法を身につけようとしているか。	
	創造的な書表現の技能	楷書・行書・仮名の基本的な表現方法を身に付けているか。 自分が書きたい文字や言葉を、思い通りに表現しようと努力しているか。	
	鑑賞の能力	書作品を、芸術的思考・視点で捉え鑑賞しているか。	
	評価方法	テストはありません。その單元ごとの目標を考慮しながら採点します。 授業時に制作した作品の出来、用具の準備、授業態度などで評価します。	
担当教諭から	毎時間の作品提出がテストのようなものなので、作品は必ず提出しましょう。 一生懸命に取り組む態度と丁寧さが重要です。積極的に添削を受けましょう。 何より練習が大切です。練習すれば必ず上達します。		